

2025年12月10日

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026運営委員会

フランス発！！

初開催以来、延べ923万3千人が熱狂した世界最大級のクラシック音楽祭

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026

2026年 5月3日(日・祝) ~ 5月5日(火・祝)

テーマは「LES FLEUVES — 大河」

開催決定

ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2026運営委員会（三菱地所株式会社／株式会社東京国際フォーラム／株式会社KAJIMOTO）は、2026年5月3日（日・祝）から5月5日（火・祝）のゴールデンウィークの3日間、世界最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2026」（以下LFJ）を開催致します。

2005年の第1回開催から、様々なチャレンジを続けてきたLFJが今回お送りするテーマは「LES FLEUVES — 大河」。

古くから流域の文化や音楽の発展において中心的な存在であり、作曲家や作品にも多大な影響を与えてきた諸大陸の「大河」にスポットを当て、ヨーロッパからロシア、アメリカ、インド、さらにはアフリカを周遊する音の世界旅行へと皆さまを誘います。大河で繋がり広がる音楽の旅へ出発しましょう！

今回のLFJも朝から晩まで同時に多数繰り広げられるバラエティ豊かな有料コンサートはもちろんのこと、講演会*やワークショップ*、無料コンサート、グルメ&ショッピングエリアなど、赤ちゃんからクラシック通まで誰もが1日中楽しめるコンテンツが盛り沢山の音楽祭。

GWは音楽の島でお待ちしております！

2026年のテーマは「LES FLEUVES — 大河」

諸大陸を潤す大河をテーマに、ヨーロッパからロシア、アメリカ、インド、さらにはアフリカを周遊する“音の世界旅行”へと聴衆の皆さまを誘（いざな）います。古くから、河川は流域の文化や音楽の発展において中心的な役割を演じてきました。クラシック音楽史上でも、河川は音楽家たちに多大な影響を与え、直接的または間接的に数々の楽曲にインスピレーションを与えてきました。

モーツアルトやベートーベン、リスト、バルトークらの活動拠点であった楽都ウィーンおよびブダペストと特に強く結びついているヨーロッパ最長のドナウ川。ヨハン・シュトラウス2世のワルツ《美しく青きドナウ》はよく知られています。スマタナは、チェコ共和国内で最長の川モルダウ（ヴルタヴァ）川からインスピレーションを得て、交響詩《モルダウ》（《我が祖国》）を作曲しました。フランス最長の川ロワール川のあるロワール渓谷に王侯貴族たちの住居として建つ城々は、その文化的な活気によって、ジョスカン・デ・プレ、クレマン・ジャヌカン、クロード・ル・ジュヌといった作曲家たちに影響を与え、新たな音楽様式の出現を後押ししました。さらにヨーロッパでは、スイス、ドイツ、オランダを流れるライン川から、沢山の名曲が生まれました。シューマンの交響曲第3番《ライン》はもとより、この大河を舞台とする「ローレライ伝説」も、ワーグナー（《ラインの黄金》）やリストら、数々の作曲家たちの創作意欲を刺激しました。ロシアの「母なる川」と呼ばれるヴォルガ川は、有名な《ヴォルガ川の舟歌》をはじめとする多くの民謡の題材となっています。

古代都市バビロンの象徴でもあった名高いユーフラテス川は、旧約聖書『詩篇』の「シオン讃歌」など、数多くの聖なるテクストにもとづく音楽に登場します。ヨルダン川は、イエス・キリストが洗礼を受けられた場所として知られ、クラシック音楽の重要なレパートリーに幾度もインスピレーションを与えてきました。

そして北アメリカ大陸のミシシッピ川は、ブルースおよびジャズの誕生と切っても切り離せません。この大河の流域、特にニューオーリンズで生まれた音楽ジャンルは、アメリカのみならず世界中の音楽に深い影響を与えました。南アメリカ大陸のアマゾン川も、ブラジル出身のヴィラ＝ロボスや、コロンビア、ペルー、ベネズエラ、ボリビア出身の作曲家たちの手を介して、クラシック音楽のレパートリーに鮮明な刻印を残してきました。

【ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026】実施概要

- 催事名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026
- テーマ：LES FLEUVES — 大河
- 開催日程：2026年5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）
- 会場：東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町他
- LFJチケット販売サイト先行発売開始：2026年2月中旬（予定）
- チケット一般発売開始：2026年3月中旬（予定）
- 公演数：有料公演90公演 ※ホールA・C・D7・G409・B5の5会場で実施（無料公演調整中）
- 主催：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026 運営委員会
(三菱地所株式会社／株式会社東京国際フォーラム／株式会社 KAJIMOTO)
- 協賛：愛知、NHKアート、協栄、工芸社、三洋貿易、シー・アイ・シー、大成建設、竹中工務店、東京エイドセンター、ナブコシステム、パシフィックアートセンター、フロムトゥ、ホーチキ、ボックス・ワン、三菱ケミカルグループメタルワン、高砂熱学工業、横浜エレベータ
※2025/12/8現在
- 企画制作：KAJIMOTO
- 公式サイト：<https://www.lfj.jp>



「ラ・フォル・ジュルネ」(LFJ) とは

「ラ・フォル・ジュルネ」は、1995年フランス西部の港町ナントで「クラシックの民主化」を掲げて誕生したクラシック音楽祭。世界中からアーティストが集い、一流の演奏を、1公演約45分、低料金で、朝から晩まで繰り広げます。日本では、2005年から毎年ゴールデンウィークに開催。有料公演のほか、誰でも気軽に演奏を楽しめる地上広場でのコンサートなどのオープンプログラム、マスタークラス、有料公演チケット（及び半券）の提示で参加できる数々のイベント（コンサート、子ども向けプログラム、講演会など）が行われ、子どもから大人まで楽しめます。また、音楽祭期間中は、丸の内などの周辺エリアでもミニコンサートが行われ、街中が音楽一色に包まれます。

過去の開催の様子

©LFJ TOKYO



<ホールA 0歳からのコンサート／ホールC



・ホールD7・G409 多彩な有料公演の数々>



<地上広場 キオスクステージ(無料公演)／ホールE キオスクステージ*／フォル・ニュイ(聴衆参加型ペント)*>



<マスタークラス>



<講演会>



<地上広場に多数展開するキッチンカー>



<ガラス棟・ホールE 出展ブース>



<ホールD1 当日券販売>



<サイン会>

（本件に関するお問合せ先）ラ・フォル・ジュルネTOKYO事務局（KAJIMOTO内）ラ・フォル・ジュルネ室 滝田 / 若林